

## 日本臨床検査医学会 2022 年度 第 2 回理事会（理事総会） 議事録

日時：2022 年 7 月 2 日（土）15：00～18：00

開催方法：オンライン（Zoom）

出席：大西宏明 理事長、田部陽子副理事長、~~メ~~谷直人会計理事、古川泰司総務理事、  
木村 聡、日高 洋、松下一之、満田年宏、森兼啓太、吉田 博、井上克枝、下 正宗、堀田多恵子、  
矢富 裕 各理事  
志村浩己、東田修二、伊藤弘康、山崎正晴、大澤春彦 各支部理事 諏訪部章 監事  
村上正巳 日本臨床検査振興協議会連絡委員（以上 理事 19 名、監事 1 名、連絡委員：合計 21 名）  
欠席：高橋 聡、柳原克紀 各支部理事、古田 耕 監事（以上 理事 2 名、監事 1 名：合計 2 名）

### I 開会、理事長挨拶（大西宏明 理事長）

大西宏明理事長から一言挨拶があり議事を進めた。

### II 報告事項

#### 1. 支部報告

各支部の終了した例会・総会・地方会、そして例会・総会・地方会の予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長の退任・新任等について報告があった。

#### 2. 各種委員会報告

##### 1) 学術推進化委員会（矢富 裕 担当理事）

2022 年度学術推進プロジェクト採択課題について、2 件の応募があり、委員会で審査のうえ審議して両課題とも採択に相応しいとの結果となり理事長に報告し、持ち回り理事会での審議で承認を得たこと、また、助成金の間接経費について問合せがあり、現在は施設の事情が変わっていることもあり、委員会で検討予定であることが報告された。

##### 2) 編集委員会（~~メ~~谷直人 担当理事、吉田 博 委員長）

2022 年 10 月に英文誌 Lab Med Int を創刊する予定であること、優秀論文賞の選考を行うこと、学会誌掲載論文の転載許諾依頼が 1 件（学会審査分）あったこと、2022 年 7 月 1 日（金）に編集委員会を開催したこと、臨床病理および日本臨床検査医学会誌が PubMed へ掲載再開されるよう PubMed 側と交渉し手続きを進め、近いうちに再開予定であることが報告された。

なお、英文誌の投稿システムは、ScholarOne Manuscripts を採用予定で初期費用は 70 万円、運用費用として年間 25 万円程度がかかる予定である。その一方、赤字とならないようにするため、投稿料として 2～3 万円程度とするのが妥当ではないかと検討中であることも添えられ、本件は補正予算として計上することとなる。

##### 3) 臨床検査点数委員会（古川泰司 担当理事、松下一之 委員長）

2022 年度の活動報告および計画として、2024 年の診療報酬改定に向け、7 月中に 2022 年度第 1 回委員会をオンラインで開催予定である。内容としては、提案書作成の準備、社員・会員向け要望アンケートとコスト調査、新規の保険点数の要望項目のアンケート、臨床検査の AI 化、統合システム化（標準化、コード化など）に向けての対応等について検討予定であること、日本核医学会から「不明熱診断に対する FDG-PET/CT 検査の保険適用」について本学会との共同提案の打診があり、当委員会においてメール審議を実施し、承認の方向で答申したことが報告された。

##### 4) 標準化委員会（日高 洋 担当理事）

C ペプチドの標準化に向けて研究計画を作成中であること、日本臨床化学会のリポ蛋白検査専門委員会で、Lp(a) 試薬の標準化に向けて準備が進んでいるが協力を要請された場合は、協力予定であることが報告された。

##### 5) 利益相反委員会（山崎正晴 委員長）

日本医学会から新たに作成された日本医学会利益相反管理規定案について検討依頼があり、審議を行い結論としてコメント等はないと答申したことが報告された。

#### 6) ガイドライン作成委員会（吉田 博 担当理事）

2021年12月末に臨床検査のガイドライン2021を発刊したこと、「臨床検査のガイドライン JSLM2021」の主な改訂点と検査室に求められる対応等について取材を受け MTJ 誌に掲載されたこと、臨床検査支援協会の市民向け小冊子の校閲・監修に対応したこと、ガイドライン掲載内容の転載許諾依頼が3件（委員会審査分）あったこと、本年の第69回学術集会（11月18日（金）14:20～16:20）に、委員会企画シンポジウム「臨床検査のガイドライン JSLM2021 の概要とトピックス」を開催予定であることが報告された。

#### 7) 広報委員会（木村 聡 委員長）

委員会委員について、JACLaS EXPO 2022 で展示スペースの提供があり委員会で対応予定であること、レジデントノートへの掲載を続けていることが報告された。

#### 8) 医療安全委員会（森兼啓太 担当理事）

11月の第69回学術集会において、医療安全に関するシンポジウムを開催予定であることが報告された。

#### 9) 新型コロナウイルスに関するアドホック委員会（柳原克紀 委員長欠席のため古川泰司 総務理事）

新型コロナウイルス感染症検査に関する日本臨床検査医学会からの提言の更新をしたこと、COVID-19に対するこれまでの対応と今後に向けた備えについて総括準備をしていることが報告された。

#### 10) 地域医療における臨床検査に関するアドホック委員会（森兼啓太 担当理事）

5月26日（木）に委員会を開催した。11月の第69回学術集会において専門医の地域偏在等に関する委員会企画を立案中であることが報告された。

#### 11) 精度管理委員会（堀田多恵子 担当理事）

CAP サーベイについて、2021年度のCAP国際臨床検査成績評価プログラムへの参加施設は200施設であったが、本年度（6月3日時点）は、180施設となったこと、減少の理由は、厚労省／日臨技／メーカー（栄研）サーベイに参加したためであること、臨床検査室グローバルニュース夏号の記事選択が終了したことが報告された。

#### 12) 会則改定委員会（田部陽子 委員長）

定款第5章社員総会について、一般社団法人法に沿っていないのではないかという意見があり、委員会で審議したことが報告された。

#### 13) チーム医療委員会（田部陽子 担当理事）

6月7日（火）に第1回委員会を開催し、委員会の活動について協議し、パニック値運用の意義、病院チーム医療への参加、病院と地域とをつなぐ地域連携室やセンター、部局での役割、在宅医療への参加（多職種連携のケアへの参加）を活動の中心として研究や提言を行うこと、第69回学術集会において「地域連携における臨床検査の貢献」をテーマとする委員会企画を予定していることが報告された。

#### 14) ワークライフバランス委員会（田部陽子 担当理事）

臨床検査専門医取得に関するサポートセンター活動を継続していること、8月21日（日）午後、第6回ハンズオンセミナーを、主催：日本臨床検査医学会ワークライフバランス委員会、近畿支部、共催：教育委員会、日本臨床検査専門医会で、WEB開催を予定しており、定員28名に対してすでに25名の申し込みがあり定員数を増員する予定であること、第69回学術集会で「臨床検査医として遺伝子関連検査に関わろう！」を委員会企画のワークショップとしてグループワーク形式での開催を企画、準備中であることが報告された。

#### 15) 統合システムに基づく臨床検査のあり方委員会 (田部陽子 担当理事)

人工知能を用いた臨床検査データの利活用の推進を活動の一環として、AI 活用感染症診断用医療機器を開発しているアイリス(株)より咽頭画像をもとにインフルエンザの判定をする AI 医療機器の特性と留意事項等に関する適正使用指針についての助言を求められヒアリングを行ったこと、臨床検査共通コードを用いた検査データの標準化についてのロードマップ作成を目指してヒアリング作業を行っていることが報告された。

#### 3. 第 69 回学術集会報告 (宇都宮 2022/11/17(木)~11/20 (日)、山田俊幸 会長) (古川泰司 総務理事)

2022 年 11 月 17 日 (木) ~20 日 (日) に、栃木県総合文化センター (メイン)、宇都宮東武ホテルグランデ (サブ) において、山田俊幸会長 (自治医大) のもと、テーマ「地域社会に貢献する臨床検査」として、対面を基本として開催予定であること、会場参加ができない場合は録画を可能とすること、現時点、一般演題は 190 題程度の申し込みがあるが募集期間を延長し、更なる応募を期待していることが報告された。

#### 4. 第 70 回学術集会報告 (長崎 2023/11/16(木)~11/19 (日)、柳原克紀 会長) (柳原克紀 会長欠席のため古川泰司 総務理事)

2023 年 11 月 16 日 (木) ~19 日 (日) に、出島メッセ長崎 (長崎) において、柳原克紀会長 (長崎大) のもと開催予定であり、運営事務局は (株) コンベンションリンクエージに依頼したことが報告された。

#### 5. 第 12 回特別例会報告 (東京 2023/4/22(土)、古川泰司 特別例会長) (古川泰司 特別例会長)

第 31 回日本医学会総会に合わせて、日本医学会分科会として第 12 回特別例会を、2023 年 4 月 22 日 (土)、大手町サンケイプラザホールにおいて、古川泰司特別例会長 (帝京大) のもと、テーマ「臨床検査の未来を担う基盤と人~SDGs 3, 8, 9~」として開催予定であることが報告された。

#### 6. 関連団体報告 (大西宏明 理事長)

##### 1) 日本臨床検査専門医会報告 (谷直人 日本臨床検査専門医会 理事長)

2022 年 5 月 20 日 (金) に第 1 回年次大会、7 月 22 日 (金) に振興セミナー、11 月 17 日 (木)、第 69 回日本臨床検査医学会学術集会の際に社員総会と講演会を開催すること、その他の予定、11~12 月にかけて役員選挙を予定していることが報告された。

##### 2) 日本臨床検査同学院 (谷直人 日本臨床検査同学院 副理事長)

2022 年度の一級臨床検査士資格認定試験、二級・緊急臨床検査士資格認定試験、遺伝子分析科学認定士資格認定試験、POCT 測定認定士資格認定試験の予定と結果、現在、第 38 回「緒方富雄賞」の応募期間中であり、9 月に選考委員会、11 月に贈呈式と記念講演会を実施すること、第 69 回日本臨床検査医学会学術集会で共催シンポジウムとして「継続的な卒後教育・生涯学習で臨床検査技師の質を担保」を企画していることが報告された。

##### 3) 日本臨床検査標準協議会 (古川泰司 日本臨床検査標準協議会 理事)

令和 4 年度年度事業計画 (2022/4/1~2023/3/31) 重点項目として下記を実施していく予定であることが報告された。

①新委員会制度による委員会活動の推進 (多項目実用参照物質検討委員会、遺伝子関連検査標準化専門委員会、ISO/TC212 国内検討委員会および ISO/TC272 国内審議委員会、認証委員会、認証評価委員会、標準採血法検討委員会、基準範囲共用化委員会、臨床検査室認定プログラム)。

②JACRI 標準化事業。

③委託事業を含む厚生労働省及び経済産業省との関係強化。

④多項目実用参照物質 (MacRM-001) 及び 3 濃度タイプ (MacRM-002) の新ロット作製・値付けとの頒布。

⑤常用参照標準物質 JSCC 常用酵素 CRM-001e の作製と頒布拡大。

⑥公益法人化後の業務体制強化として小規模検査施設の外部精度管理調査事業の立ち上げ。

⑦経産省再委託事業の ISO/TC212 活動。

⑧2022 年 6 月 29 日 (水)、令和 3 年度 JCCLS シンポジウム開催。

⑨令和 4 年秋、令和 4 年度学術集会 JCCLS シンポジウム開催予定。

⑩7月末、会誌37巻1号発行予定。

⑪JIS Q 17034：2018（選択肢A適用）に基づく標準物質生産者について、今年度も引き続き第6回定期サーベイランスを受審予定。

#### 4) 日本医療検査科学会（**谷直人 日本医療検査科学会 理事**）

各種会議予定（理事会、委員会、社員総会、総会）、2021年4月18日（日）、第35回春季セミナー（前田士郎例会長：琉球大）を沖縄県市町村自治会館で、2021年10月8日（金）～10日（日）に第53回大会・委員会技術セミナー（同時開催：展示会 JACLaS EXPO 2021）（柳原克紀大会長：長崎大）をパシフィコ横浜（一部オンデマンド配信）で開催したこと、医療検査と自動化（日本医療検査科学会誌46巻1～5号）、科学技術委員会マニュアル、POC技術委員会マニュアルを刊行したこと、そして、2022年10月7日（金）～9日（土）、神戸国際会議場において、日高洋大会長のもと、日本医療検査科学会第36回大会を開催予定であることが報告された。

#### 5) 日本臨床検査振興協議会（**村上正巳 臨床検査振興協議会 理事長**）

2022年4月1日付で一般社団法人化し、団体名を臨床検査振興協議会から日本臨床検査振興協議会に名称変更したこと、役員体制、委員会（診療報酬改定小委員会、診療報酬制度小委員会、在宅医療における臨床検査に関する小委員会、遺伝子関連検査に関する小委員会、感染症対策に関する小委員会、大規模災害対策委員会、広報委員会）活動予定について報告された。

#### 7. 本学会からの関連団体派遣委員について（**大西宏明 理事長**）

前回理事会（3月27日）以降に新たに当会からの派遣が決まった委員等について報告された。

#### 8. 認定試験について（**大西宏明 理事長**）

##### 1) 第2回機構専門医・第39回臨床検査専門医認定試験（東京 2022/8/7(日)）（**古川泰司 実行委員長**）

昨年より試験は1日で実施しており、本年も、2022年8月7日（日）8：00～17：00に、帝京大学霞ヶ関キャンパス（平河町森タワー9階）にて実施予定であること、学会初回受験者3名、2020、2021年に新型コロナウイルスの影響で受験辞退していた学会初回受験者3名、機構専門医受験者12名、再試験受験者（科目受験）3名、合計21名が受験予定であること、各分野の試験問題のブラッシュアップをほぼ終えたことが報告された。

##### 2) 第14回臨床検査管理医講習・認定試験（東京 2022/9/4(日)）（**山田俊幸 実行委員長**）（**古川泰司 総務理事**）

2022年9月4日（日）11：30～16：00に、順天堂大学本郷キャンパスにて実施予定であり、2022年申込の受験者25名と2020、2021年に新型コロナウイルスの影響で受験辞退していた受験者16名の合計41名が受験予定であることが報告された。

#### 9. 会費の請求方法について（**大西宏明 理事長**、**谷直人 会計理事**）

2020、2021年度の2年間は、メール配信、会員マイページのお知らせに掲載し会費納入依頼したが、昨年末に2022年度会費を請求する際には、会費納入依頼書、請求書、郵便振替用紙等を郵送して納入依頼をした。これについて、会員より、会員マイページから納入可能であるため郵送料等の費用が勿体なく郵送不要ではないかという意見が寄せられた。実際に、郵送した場合は、書類、封筒、通信費を含めると80万円ほどの費用がかかった。会員マイページの運用費用も毎月55,000円かかることもあり、会員マイページから請求書をダウンロード可能として、当初のメール配信、会員マイページのお知らせへ掲載して会費納入依頼をすることが報告された。

#### 10. 第31回日本医学会総会奨励賞候補者推薦依頼について（**大西宏明 理事長**）

第31回日本医学会総会から日本医学会加盟分科会へ日本医学会総会奨励賞候補者1名の推薦依頼があり、学会賞委員会と学術推進委員会へ6月6日に候補者推薦依頼（6/20期日）をし、学会賞委員会より順位を付けて推薦があり、そのうち1位の評価だった森田賢史先生（東大病院）を矢富裕先生、本人に承諾を得て推薦することが報告された。

#### 11. 日本核医学会からの「不明熱に対するFDG-PET/CT検査」の保険適用（公知申請）に関する要望について

**(大西宏明 理事長)**

2022年6月14日(火)に日本核医学会より、「不明熱に対するFDG-PET/CT検査」の保険適用(公知申請)に関し共同提案学会となる要望があり、まず、臨床検査点数委員会に検討依頼し、承認の方向で答申を得たため、6月27日(月)に共同提案を承諾することで回答したことが報告された。

**12. Subspecialty 領域専門医制度における学会認定・機構承認に関する説明・意見交換会について**

**(大西宏明 理事長)**

日本専門医機構ではSubspecialty学会を承認することが進められている。目安としては、各基本領域学会において1年あたりの専門医認定が約200人につき1つのSubspecialty領域の設置を目安とするという基準があり、当会としては、すぐに申請することは難しいことが報告された。

なお、理事より、各病院で臨床検査科を標榜することを学会として進めるのが望ましいのではないかという意見があった。

**13. 第31回 World Congress of WASPaLM 報告(ウルグアイ 2022/9/29(木)~10/2(日))(村上正巳 先生)**

第31回 WASPaLM はウルグアイで現地開催であり、この度、レジデントの推薦依頼(空港から会場、宿泊費の補助があるがウルグアイまで旅費は自己負担となる。)があり、1名の参加希望があったこと、10月1日(土)に日本臨床検査医学会主催のシンポジウムがあり宮地勇人先生、村上正巳先生、下澤達雄先生が参加することが報告され、なお、7月31日(日)まで演題登録期間であるため、応募検討の依頼がなされた。

**14. 第17回アジア臨床病理・臨床検査医学会報告(神戸 2022/10/7(金)~10/9(日))(大西宏明 理事長)**

2022年10月7日~9日、神戸国際会議場で、宮地勇人大会長のもと、第17回 ASCPaLM が開催予定であり、一般演題109題、指定演題プログラムもほぼ固まったことが報告された。

なお、当会は、アジア交流基金を設けるなど、ASCPaLMの歴史で中心的な役割を果たしてきたが、前回の日本開催(第12回、2012年)においては、ホスト国である当会役員の参加と交流が乏しかったため、今回は、当会役員が参加し、アジア各国の代表者と対面で交流することが大切と参加依頼がなされた。

**15. その他**

**・日本医療安全調査機構「血液検査パニック値(緊急異常値)に係る死亡事例」専門部会について(村上正巳 部会長)**

2015年10月に日本医療安全調査機構の医療事故調査制度が開始されてから、血液検査パニック値(緊急異常値)に関連した死亡事例は17件で、そのうち医師に伝わらなかった事例が12例あった。そういった関連する死亡を回避するため、原因と背景を明らかにし、パニック値検出時の報告システム等を検討し再発防止策を講じるため、村上正巳先生が部会長となり、専門分析部会(臨床検査専門医2名、内科医療専門の医師1名、救急医療専門の医師1名、医療安全担当の医師1名、看護師1名、臨床検査技師2名、薬剤師1名、診療情報管理士1名、システム構築面の専門家1名で構成予定)を設置し、活動を開始したこと、当会からは、大西宏明先生、諏訪部章先生に参加依頼したことが報告された。

**・2022年度功労賞「河合忠賞」受賞候補者について(大西宏明 理事長)**

3月27日(日)の2022年度第1回理事会、6月24日(金)にメールにて、理事宛てに功労賞「河合忠賞」受賞候補者推薦依頼をしたことについて、7月30日(土)までの候補者推薦について再確認された。

**・各支部への確認事項について(田部陽子副理事長)**

**1) 支部より会員名簿を請求する場合についてのお願い**

会員名簿を請求する場合は、支部長からメールで理事長宛てに(Cc事務局)で使用目的と必要な項目を記載のうえ、依頼することが再確認された。

**2) 支部総会、例会プログラムについて**

支部総会、例会などのプログラムについて、日本臨床検査医学会誌とHP掲載のため、プログラム決定後、掲載内容の送付依頼がなされた。

### 3) 支部での総会、例会の参加者登録の再確認について

支部総会、例会への参加者について、各支部に配布している PC とバーコードリーダーで会員証の QR コードを読み込んだうえでの参加者データを、また WEB 開催の場合は、オンライン登録した名簿の提出依頼がなされた。なお、事務局では会員マイページに参加の記録を登録することになっている。

## Ⅲ 審議事項

### 1. 2022・2023 年度委員会委員について（大西宏明 理事長）

#### ・ ICD-11 委員会設置について

これまでは、厚生労働省からの対応依頼があるため ICD-11 和訳タスクフォースとして対応していたが、頻繁に依頼があるため ICD-11 委員会を設置して対応することが提案され承認された。

#### ・ 臨床検査専門医制度検討委員会の廃止について

木村聡委員長から、日本専門医機構による認定制度が進んでいるため本委員会の役割は機構委員会で対応できていると考えられ、また委員会の乱立防止の意味でも廃止することが提案され承認された。

#### ・ Subspecialty 検討小委員会の委員会名変更について

もともと本小委員会は、臨床検査専門医制度検討委員会の下部の小委員会だったが、臨床検査専門医制度検討委員会が廃止となることに伴い小委員会ではなく委員会とする提案があり承認された。

#### ・ 未承認委員について

各委員会委員長から推薦された委員で、未承認の委員について諮られ承認された。

### 2. 定款「第 5 章 社員総会」の改定について（大西宏明 理事長、会則改定委員会：田部陽子委員長、×谷直人 担当理事）

評議員より、社員総会の現地開催、オンライン開催について、開催、議決について、現時点のものは不適切ではないかという意見があり、一般社団法人法、顧問弁護士の助言を得たうえで検討し、招集通知は 5 日前から 7 日前に、議決権行使の方法、議決権については過半数から 2/3 以上と改定することについて諮られ、承認された。

なお、理事より、社員総会についての定款でだが、社員ではなく評議員と記載されていることが不自然との指摘があった。第 4 章第 15 条で「正会員の中から 10 名以上 300 名以下の評議員を選出し、この評議員をもって一般社団法人および一般財団法人に関する法律(以下、「一般法人法」という)上の社員とする。」と定めているが、会則改定委員会で再確認することとなった。

### 3. 臨床検査管理医制度 認定更新制度 規定の改定について（大西宏明 理事長）

e-learning の単位を臨床検査管理医更新単位として認めることに伴う改定内容、保留期間（5 年間）後の延長は削除すること、また、その他、会議名、学会名とその並び順などの再確認による改定について諮られ、承認された。

### 4. 試験実行委員会における WEB 会議利用について（大西宏明 理事長、田部陽子 副理事長）

現時点、試験問題のブラッシュアップは、WEB 会議は使用しないと規定されているが、WEB 会議で実施したいという要望、意見があったため、他の基本領域学会に参考意見を求め、使用している学会があること、試験実行委員に、WEB システムを利用したい会議、現行の Google Drive 方式の併用、使用する回数等についてアンケートを実施し検討し、セキュリティーの高い WEB システムを使用のうえ開催するという結果になり、本件について諮られ、承認された。

### 5. 2022 年度国際学会奨励賞候補者について（大西宏明 理事長、井上克枝 担当理事）

2021 年度の参加、発表が対象の 2022 年度国際学会奨励賞について、国際委員会より審査のうえ、推薦された 2 名の受賞候補者について諮られ、承認された。

#### 6. 会員マイページの改修について（大西宏明 理事長、〆谷直人 会計理事）

2019年に検討して、2020年より現在の会員マイページの運用を開始した。当時、導入にあたっては、特別会計で500万円の予算を取っていたが、会員マイページ運営会社への費用は発生せずに、会員への会員マイページのID、パスワードの文書の発行費用と、前会員データからのデータ抽出費用の合計100万円の経費のみであった。運用開始後2年が経過して、改修が必要と思われることが発生し、その見積りが提示された。2019年予算の会員マイページ費用のうち400万円が残っているため、それを費用に充てたい。会員マイページ改修について、特別会計から100万円の予算を立てることについて諮られ、承認された。なお、第3回理事会で補正予算に反映することになる。

#### 2022年度理事会日程の確認（古川泰司 総務理事）

次回以降の2022年度の理事会、2023年度の理事会、定時社員総会の日程が報告され、確認依頼がなされた。

##### 【2022年度理事会日程】

第3回：2022年10月22日（土）15：00～18：00

##### 【2023年度 理事会・定時社員総会日程】

第1回理事会および2022年度に係わる定時社員総会：2023年3月26日（日）

#### IV 閉会（田部陽子 副理事長）

田部陽子副理事長より閉会の言葉があり、2022年度第2回理事会は閉会された。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し出席理事長、副理事長及び監事がこれに記名押印する。

2022年7月13日

一般社団法人 日本臨床検査医学会 理事会

議長 理事長 大西宏明 印

副理事長 田部陽子 印

監事 諏訪部章 印